

## 県営都市公園油ヶ淵水辺公園について

### 1 当公園の基本テーマ

「油ヶ淵」の水辺が育んできた「自然」と、この場所で昔から人々が培ってきた「歴史」を引き継いで、水でつながる永続的で連続した風景の環を育む公園となるよう「油ヶ淵の自然と歴史 未来へつなぐ水辺風景の創造」を基本テーマとしている。

この基本テーマをもとに、公園区域内をAからEの5つのエリアにゾーン分けし、エリア毎に基本テーマに関連した整備方針を設定し整備を進めている。

A エリア (矢作川水園)	三河地区の象徴である矢作川を中心とする地域の風景を、流れ、森、広場、水田などにより表現し郷土景観の創出を図る。
B エリア (自然ふれあい生態園)	油ヶ淵の自然環境を再生し、身近な生き物との触れ合いの場の形成を図る。
C エリア	農地の保全を図るとともに、公園内は農地の中の散策空間や釣りの拠点の場の形成を図る。
D エリア (交流広場)	県民の多様なニーズに対応し、憩いと交流の場の形成を図る。
E エリア (水生花園)	花や植栽により、季節感あふれる風景の創出を図る。

※ なお、今回の第1期開園は、Bエリアの自然ふれあい生態園の一部とEエリアの水生花園の一部となります。

### 2 事業概要

事業主体：愛知県

所在地：愛知県碧南市、安城市

事業経緯：以下の通り

平成17年10月 都市計画決定

\*都市計画決定区域面積：139.9ヘクタール

平成18年 3月 都市計画事業認可

\*事業認可区域面積(第1期整備区域面積)35.7ヘクタール

平成18年度より事業着手し、平成24年度より、本格的に工事着手。

今後の予定：第1期整備区域の全面供用に向け、引き続き整備を進めていきます。